

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371301165
事業所名	グループホーム 集い

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、地域の敬老会や夏祭りに参加している。外出は地域の社会資源を活用し、保育園児との交流は定着している。認知症サポーター養成講座の開催等、ホームからの情報発信も視野に入れており、前回国政選挙には3名の利用者が投票所に向かった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者、家族、地域代表、いきいき支援センター職員、同法人他施設職員が参加し、運営推進会議を年6回開催している。ホームの現状報告と併せ、防災や健康管理等、毎回テーマを決めて情報交換を行っている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 利用者に生活保護受給者がおり、区の担当部署（保護係）と緊密に連携をとっている。半年に1～2回、区の担当者が面接に来訪し、保護係のケースワーカーからは入居の問い合わせや依頼がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の面会は頻回で、遠方の家族も大勢で来訪している。日常の電話連絡と併せ、その都度家族意見の聞き取りを行っている。家族アンケートの満足度は極めて高く、職員の親身なケアへの感謝の言葉が多い。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	忍 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	×	○				